

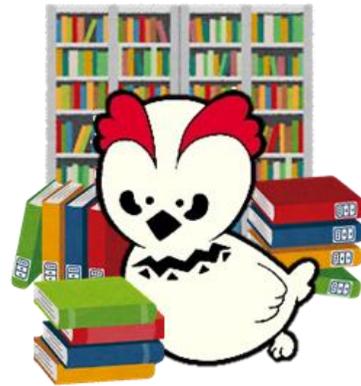


南アルプス市サードブック事業

本とともに

— きみのそばに この一冊 —

【小学校4・5・6年生にすすめる本】



司書が選んだ とっておきの本を紹介します

令和 6 年度



サードブック事業とは

南アルプス市では、家庭における読書の推進と子育てを支援するため、4か月児健康診断時に絵本を手渡す「ブックスタート事業」、小学校1年生に本を手渡す「セカンドブック事業」、さらに小学校4・5・6年生と中学生にすすめる本を紹介する「サードブック事業」を実施しています。

児童・生徒が本への親しみや興味を持ち、心豊かに成長することを願い、市立図書館司書と学校司書がすすめる本を選びました。「小学校4・5・6年生にすすめる本」のリストと「中学生にすすめる本」のリストがあり、市立図書館のホームページからも見ることが出来ます。



図書館マスコットキャラクター

ライライ

きっと、あなたの背中を押してくれる一冊があるはずです。

本との素敵な出会いがありますように。

南アルプス市立図書館ホームページ

<http://m-alps-lib.e-tosho.jp>



こちらから



【 新たな挑戦をしたい時に 】

『風のヒルクライム』

作 / 加部鈴子
出版社 / 岩崎書店

子どもの移動手段といえば自転車。自転車でもどこまでも行けるような気持ちでいました。大人になってからはクロスバイクで湖畔や山間部、県外の道を走りました。この小説に出てくるのはロードバイクといって競技や長距離走行向けのスポーツバイクです。主人公は父親からプレゼントされたロードバイクでヒルクライムレースに出場します。ひとつのレースでも、かけるひとの思いは様々。一緒にゴールを目指す気持ちで読める一冊です。



【 将来を考える時に 】

『おとな体験授業?』

作 / なかがわちひろ
出版社 / アリス館

小さい頃は看護師さんに憧れたり、ガソリンスタンドでも働いてみたいなど将来の夢がたくさんあり、コロコロ変わっていました。皆さんも気になる職業がたくさんあるのではないのでしょうか? 将来、自分の得意なことは活かせるのでしょうか? あまりやったことはないけれど、意外とこんなことが得意かも! と考えることができる一冊です。また、小学生5人のおとな体験がイラストとともに章に分かれて書かれており、とても読みやすいお話です。



【 戦争の新たな真実を知りたい時に 】

『パンキン! 模擬原爆の夏』

作 / 令丈ヒロ子
絵 / 宮尾和孝
出版社 / 講談社

この本は、以前、国語の教科書で紹介されていました。授業の中で子どもたちに紹介しようと思い、ページをめくっていると、そこには私が想像もしなかった事実が書かれていました。長崎に落とされた原子爆弾と同じ形状の爆弾が「模擬原爆」として、30もの都市に落とされていたのです。戦争は今も各地で起こっています。

他人事と捉えず、身近に起こった事実を知ることが、私たちにとって大切なことなのではないでしょうか。



【 世界を広げたい時に 】

『人間図鑑 みんなのちがい』

絵 / 間芝勇輔
編著 / いろは出版
出版社 / いろは出版

日本のことわざに「親しき仲にも礼儀あり」がありますが、お隣の中国には「親しき仲に礼儀なし」という文化があるそうです。言葉の感じは似ているのに意味が全く違って、驚いたことを覚えています。この本では世界の人々の違いが紹介されています。世の中に同じ人間は存在しません。世界中には様々な生活や考え方をしている人たちがいます。

この本を読んで、いろんな「違い」と「ものの見方」を学び、自分の新しい世界を広げましょう!

【 違う世界を知ってみたい時に 】



『黒ネコジェニーのおはなし 1
ジェニーとキャットクラブ』
作・絵 / エスター・アベリル
共訳 / 松岡享子 張替恵子
出版社 / 福音館書店

散歩をしている時、行く手に現れたネコが急に振り返り、目があったら「ついておいでよ」と言われているような気がしませんか？そして、そのネコについて行ったとしたらネコたちの集まりに出会い、違う世界が見られるかもしれません。小さな黒いみなしごネコのジェニーは、「キャット・クラブ」というネコの集まりに入りたいけれど、それにはなにか特技が必要で…。少しはにかみやでひっこみじあんの愛すべき黒猫の物語です。



【 ゆかいな気分になりたい時に 】

『たまごのはなし』

作 / しおたにまみこ
出版社 / ブロンズ新社

絵を見たり描いたりするのが好きな私は、さし絵に惹かれて、「どんな物語かな？」と思い読み始めると、素敵な絵とは裏腹にとても楽しいものでした。人間のように表情豊かなたまごやマシュマロが台所中を探検してまわります。それを見た鉢植えや時計が嫌味を言ったり、ナッツたちがケンカをしたり…。少し毒舌なたまごとのやり取りがおもしろいです。どんな面白さかはぜひ読んでみてください。きっとゆかいな気持ちになれるはずですよ。



【 誰かのために何かしたいと思った時に 】

『髪が つながる物語』

著 / 別司芳子
出版社 / 文研出版

この本では、ヘアドネーションの活動について、実際に髪を寄付するまでが紹介されています。以前勤務していた学校で、髪の長い中学生の女の子が、突然バツサリ髪を切って来たことがありました。ヘアドネーションに寄付をし、そしてまた寄付をするために、髪を伸ばすのだと話してくれました。他の誰かのために何かをしてみたいと思った時に、募金以外にもこのような方法もあるのだと、みなさんに知ってもらいたいと思いました。

【 国旗が気になった時に 】



『世界の国旗「つながり」図鑑』

著 / 吹浦忠正
絵 / 川瀬ホシナ
出版社 / グッドブックス

子どもの頃、母が部屋の壁に世界地図と国旗の描いてあるポスターをはってくれました。よく見ていると、イタリアとフランスの旗は色が違うだけで似ているなど思いました。

この本を読んで、二つの国旗が似ているのにはちゃんと理由があったことを知りました。まさか、あのフランスの英雄が関係していたなんて！

ぜひ、意外なところでつながっている国旗の世界を楽しんでみてください。



【 「本当の鬼の話？」を読みたい時に 】

『すみ鬼にげた』
作 / 岩城範枝
絵 / 松村公嗣
出版社 / 福音館書店

唐招提寺の軒下に、小さな「すみ鬼」が屋根を支えています。マンガ『鬼滅の刃』（集英社）は人と鬼との戦いの話ですが、これは「すみ鬼」の話。中国の僧の舟に乗り込み、日本にやってきたこの鬼の願いは「日本の鬼と勝負したい」。さて、鬼の願いはかなうのでしょうか？私は次の休みに唐招提寺を訪れ、軒下の「すみ鬼」を見つけに行きます。「ふっふっふ」と笑う鬼の声が、もしかすると私の耳に聞こえてくるかもしれません。



【 自分や誰かをはげましたい時に 】

『12の贈り物』
世界でたったひとりの大切なあなたへ』
作 / シャーリーン・コスタンゾ
訳・絵 / 黒井健
出版社 / ポプラ社

誕生の瞬間に誰もが平等に授かった12の贈り物。ひとつひとつの贈り物には、愛にあふれた美しい言葉と黒井健さんの優しい絵が添えられ心に深く響きます。私も困難に遭遇したり自信を失いかけた時など、何度もこの本に助けられた経験があったので、二人の子どもの10歳の誕生日にプレゼントしました。12の贈り物に加え、最も大切な贈り物は「あなた自身」と結んでいます。「あなた自身」があってこそ12の贈り物が生かされると教えてくれます。



【 一人でモヤモヤしてしまった時に 】

『モヤモヤそうだんクリニック』
文 / 池谷裕二
絵 / ヨシタケシンスケ
出版社 / NHK出版

自分一人でなんとなく心がモヤモヤしてしまう事はありますか？私はそんな時、お気に入りのアイスを食べるか、早めに寝る事にしています。もしもみなさんが学校や友達との事などで眠れないほどモヤモヤしてしまった時は、ぜひこの本を読んでみてください。脳研究の第一人者とヨシタケシンスケさんが“科学”と“ユーモア”で向き合ってくれます。一人でためこまずモヤモヤをみんなでき共有し、心軽やかに前に進んでいきましょう。



【 もう一度会いたい時に 】

『少年名探偵 虹北恭助の冒険 新装版』
著 / はやみね かおる
画 / kappe
出版社 / 星海社

子どもの頃出会った探偵と相棒に再会できました。学校も行かず古書店で店番をしている虹北恭助と、同い年で幼馴染の野村響子。ひとりで増えていく駄菓子屋のおかし、アーケード街を深夜さまよう透明人間の足跡、なんでも願いを聞いてくれるお願いビルディングといった虹北商店街の謎を鮮やかに解いていきます。しかしこのシリーズ、「冒険」の続きが「新冒険」、「新・新冒険」で、しかも新装版というのがややこしいところです。



【 特別なお休みをしてみたい時に 】

『トクベツキューカ、はじめました！』
作 / 清水晴木
絵 / いつか
出版社 / 岩崎書店

凛りんの通かよう小しょうがっこう学校にはトクベツキューカという校則がうそくがあります。漢字かんじで書くと特別とくべつ休暇きゅうか。一年いちねんに一度いちどだけ、好きな日すきなひに学校がっこうを休やすんでいい日ひです。もし、あなたがこの特別とくべつなお休みやすみを使うならいつにしますか？学校がっこうに行いきたくない日ひ？それとも、少し遠とほくまでお出でかけしたい日ひ？

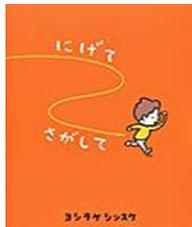
この本ほんを読よんだ時とき、まるで自分じぶんも一緒いっしょにお休やすみをとっているような気分きぶんになりました。ズル休やすみとはちょっとちがう、特別とくべつなお休やすみを体たい験けんしてみたい人ひとへ。



【 人のあたたかさにふれたくなった時に 】

『バスが来ましたよ』
文 / 由美村嬉々
絵 / 松本春野
出版社 / アリス館

バス停ていで待まちつ盲もう目の男おとこ性に声こゑをかけた一人ひとりの少女しょうじょから始はじまった親切しんせつのリレー。この本ほんは、そのおかげで10年じゅうねん以上いじょうもバス通勤つうきんができた男おとこ性せいのお話はなしです。手てを差し伸のべる気き持もちちはあっても、行こう動どうに移うつすことことの難むづしさは私わたしにも経けい験けんがあります。街まちで困こまっている人ひとをみだ時とき、声こゑをかける勇ゆう気きがなくな手てを差し伸のべられなかつたことは、大人おとなになつた今いまでも少すこし心こころ残のこりになっていいます。一人ひとりでも多おほくの人がこの本ほんの中なかの少女しょうじょのように行こう動どうできる人ひとになりますように。



【 にがてな人に出会った時に 】

『にげてさがして』
著 / ヨシタケシンスケ
出版社 / ポプラ社

あなたがもしひどいことをされたなら、にげていいのです。それは悪いことではありません。にげて自分じぶんを守まもってください。そしてあなたを理り解かいしたり、守まもってくれる人ひとやなにかをさがしましょう。わたしにも、にげずに戦たたかうことことで成せい長ちやうした経けい験けんがありました。上手うまくいかないことこともありました。世よの中なかにはいろいろな人ひとがいます。にげて、さがして、うごいて、かわりにいつかすてきな人ひとや何なにかがあなたに見みつかりますように。



【 世界を知りたいと思った時に 】

『世界はこんなに美しい』
アンヌとバイクの20,000キロ』
文 / エイミー・ノヴェスキー
絵 / ジュリー・モースタッド
訳 / 横山和江 出版社 / 工学図書

1973年ねんにバイクで世界せかい一周いっしゅうの旅たびに出でたフランス女にん性せいアンヌ=フランス・ドートヴィルをモデルに描えがかれたお話はなしです。私わたしもこの本ほんを読よんで、初はじめての海かい外がい旅行りょこうで言こと葉はや食しょく事じ、景けい色しきに感かんじた高こう揚やう感かんを思おもい出だしました。アンヌは必要ひつよう最低さい限げんの荷に物もつでバイクに跨またり、初はじめての景けい色しきや様さま々ざまな人ひと々と出であ逢いいます。その旅たびでアンヌが感かんじたこととは？世せ界かいを知しりたい、色いろ々いろな人ひとと出であ逢いたいと思おもわせてくれる一いっ冊さつです。



【 お眠りについて知りたいと思った時に 】

『寝るのが楽しくなる睡眠のひみつ』
文・絵 / ヴィッキー・ウッドゲート
訳 / 山崎正浩
出版社 / 創元社

ワクワクすることがあって眠れない、運動しすぎて疲れて起きていられなかった、そんな経験はありませんか？私は気になる事があると朝まで眠れないなんてことも…。眠りのタイプについてや、寝相や夢の話、動植物の睡眠時間など科学的要素が多いですが、ガイド役の猫、ミミがわかりやすく案内してくれる楽しい絵本です。キリンの睡眠時間が1日30分だなんてびっくりしませんか？側において何度も読み返したくなる一冊です。



【 お金持ちになりたいな！と思った時に 】

『レモンをお金にかえる法“経済学入門”の巻』
文 / ルイズ・アームストロング
訳 / 佐和隆光
絵 / ビル・バツソ
出版社 / 河出書房新社

お金は好きですか？嫌いという人はあまりいないかもしれませんがね。お金を扱う学問を経済学といいますが、経済というと難しく感じます。私は経済のことがよく分からないまま大人になってしまいました。この本はレモンからレモネードを作って売る、それだけの事から経済の仕組みをわかりやすく説明しています。友だちがお客になったり競争相手になったり、ワクワクしながら経済ってこういうことなんだ！と学べる一冊です。



【 自分の中の偏見と向き合った時に 】

『ひと箱本屋とひみつの友だち』
作 / 赤羽じゅんこ
絵 / はらぐちあつこ
出版社 / さ・え・ら書房

本が好きな小学5年生の朱莉は、同じ趣味を持つ単いすユーザーの理々亜と友だちになりますが、その接し方に悩みます。よかれと思ってした行動が、同情を嫌がる理々亜を傷つけてしまったのではないかと…。困っている人の力になりたいと思っても、どうしたらいいのかわからない経験が私にもあります。「親切にしてあげる」のではなく「自分にできることを探す」ことが大事であり、心のバリアフリーについても考えてみたくなる一冊です。

令和6年度

南アルプス市サードブックリスト
【小学校】

編集・発行者 南アルプス市学校司書
南アルプス市立図書館司書

発行日 令和7年1月 Vol. 4

南アルプス市立図書館ホームページ
<http://m-alps-lib.e-tosho.jp>

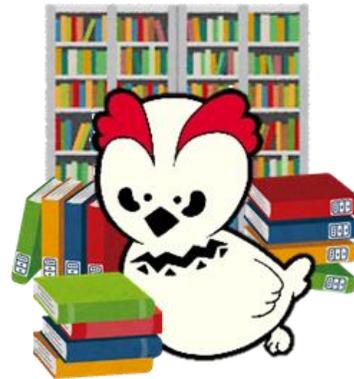


南アルプス市サードブック事業

本とともに

— あなたに寄りそう一冊 —

【中学生にすすめる本】



司書が選んだ とっておきの本を紹介します

令和 6 年度



サードブック事業とは

南アルプス市では、家庭における読書の推進と子育てを支援するため、4か月児健康診断時に絵本を手渡す「ブックスタート事業」、小学校1年生に本を手渡す「セカンドブック事業」、さらに小学校4・5・6年生と中学生にすすめる本を紹介する「サードブック事業」を実施しています。

児童・生徒が本への親しみや興味を持ち、心豊かに成長することを願い、市立図書館司書と学校司書がすすめる本を選びました。「小学校4・5・6年生にすすめる本」のリストと「中学生にすすめる本」のリストがあり、市立図書館のホームページからも見ることが出来ます。



図書館マスコットキャラクター

ライライ

きっと、あなたの背中を押してくれる一冊があるはずです。

本との素敵な出会いがありますように。

南アルプス市立図書館ホームページ

<http://m-alps-lib.e-tosho.jp>



こちらから



【 心が泣いてしまった時に 】

『さみしい夜にはペンを持って』

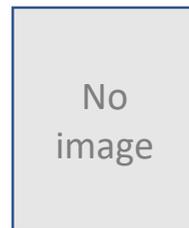
著 / 古賀史健

絵 / ならの

出版社 / ポプラ社

主人公のタコジローは、緊張すると顔が赤くなるためにいじめられていました。ある時ヤドカリのおじさんに会い、その話を話すと、自分の考えを書く事を勧められました。タコジローは、書く事でいじめと向き合っていきます。

私も辛い事があった時、文字を書くと気持ちが落ち着きます。気持ちを楽にする方法はいろいろありますが、この本を読んで、書く事も気持ちを楽にする方法の一つになるのだと知ってもらえたらと思います。



【 知らない自分と出会いたい時に 】

『ひとり旅日和』

著 / 秋川滝美

出版社 / KADOKAWA

超がつくほど人見知りの日和は、会社の上司に勧められ「ひとり旅」に行くことになりました。最初はお店やホテルの人とも緊張してうまく話ができませんでした。何度も旅を続けるうちに自分も積極的に行動できるのだと気づき始めます。知らない土地だからこそ「せっかく来たからやってみよう!」という気持ちになることもあります。私も旅行先でそんな風に思うこともたくさんありました。本に出てくる場所に行ってみたくなる一冊です。



【 自分の気持ちに気づききっかけがほしい時に 】

『給食アンサンブル』

著 / 如月かずさ

出版社 / 光村図書出版

六人の中学生、六品の給食メニューでつづる連作短編集です。それぞれ悩みをもつ六人へ自分の気持ちに気づききっかけをくれたのは、身近な給食でした。就職の際、山梨県に帰るか県外で就職するか迷っていた私は、唐揚げを食べながら「県外にいたら母が作ってくれる唐揚げはめったに食べられないな。山梨に帰りたい。」と思ったことを思い出しました。自分の気持ちに気づききっかけはなつかしい味や身近な存在にあるのかもしれないと思った一冊です。



【 爽快な気分を味わいたい時に 】

『武士道シックスティーン』

著 / 誉田哲也

出版社 / 文藝春秋

剣道において勝敗を重視する香織、楽しさを重視する早苗。同じ部活でも二人の考え方は正反対。だからこそぶつかり合い、話し合い、理解していくことを通して二人の成長を感じることができます。部活動はクラスとは別の関わり合いが持てる場所です。学生時代、部活が楽しくて授業終了のチャイムと同時に体育館へ走ったのも良い思い出です。笑って泣いて熱くなる武士道シリーズ一巻目、部活を頑張るみんなにオススメの一冊です。



【 そっと背中を押して欲しい時に 】

『あなたの言葉を』

著 / 辻村深月
出版社 / 毎日新聞出版

小学生新聞で連載されていたエッセイで、そっと背中を押してくれるような優しい言葉で書かれています。日常生活の中でうまく言葉にできなかった気持ちが、わかりやすく言語化されていて、読み終わった後、私は子どもの頃に感じたことがあるモヤモヤした気持ちや、うまく答えが出ない疑問に答えをもらった気持ちになりました。

自分の心と向き合うことや、自分自身の言葉を見つけ育てることの大切さを語りかけてくれる一冊です。



【 早く大人になりたいと思った時に 】

『おとなになるってどんなこと？』

著 / 吉本ばなな
出版社 / 筑摩書房

大人になったら一人暮らしをすることが夢でした。でも実際に夢がかなっても、大人になったとは思えませんでした。両親や大家さんなど、たくさんの大人に支えられてできていた一人暮らしだったからです。では「おとなになるってどんなこと」なのでしょうか？この本にヒントが隠れています。すでに大人になった私はこの本を読んで、あなたが大人になったと感じる瞬間まで、目一杯子ども時代を楽しんでほしいと思ったのでした。



【 自分の将来について考えた時に 】

『アフリカで、バッグの会社はじめました
寄り道多め仲本千津の進んできた道』

著 / 江口絵理
出版社 / さ・え・ら書房

将来の夢が見つからなかった大学生の時に、ある先生に出会いました。授業の中で、絵本の素晴らしさや、子どもたちにその魅力を伝えることの大切さを学び、そのことが司書を自指すきっかけになりました。

この本に出てくる仲本千津さんは、アフリカのウガンダで出会った女性たちと会社を立ち上げます。遠回りしながら、自分の信じる道を歩んできた仲本さんの姿は、進路に悩むたくさんの人の背中を押してくれると思います。



【 「生きる」ことについて考えた時に 】

『14歳、明日の時間割』

著 / 鈴木るりか
出版社 / 小学館

生きていると様々な感情に直面します。それは楽しいことばかりではないはず。この本を手に取り、中学生の頃には、進路や学校行事、人間関係などたくさんの壁にぶつかったことを思い出しました。大人になった今なら些細な悩みだったなと感じることで、当時の私にとっては一大事でした。しかし、それらの経験があったからこそ今をこうして生きているのだと気づかされます。今を生きるあなたにぜひ読んでもらいたい一冊です。



【 あきらめない強い気持ちが欲しい時に 】

『指輪物語 第一部 旅の仲間』
著 / J・R・R・トールキン
訳 / 瀬田貞二 田中明子
出版社 / 評論社

恐ろしい闇の力を秘めた黄金の指輪をめぐる冒険ファンタジー。登場人物たちは、常に試練に立ち向かい前進します。

私は自分の意志が弱く、目標を投げ出してしまいそうになった時、この本に出会いました。仲間と自分を信じて使命を果たそうとする主人公の姿に心を打たれ、あきらめず努力した先には必ず光が見えることを物語の世界から教えてもらいました。この一冊から壮大な旅が始まります。続編の結末までじっくり読んで欲しいです。



【 一歩踏み出す勇気が欲しい時に 】

『3年間ホケツだった僕がドイツでサッカー指導者になった話』
著 / 中野吉之伴
出版社 / 理論社

「サッカーが好きだ」という気持ちだけではどんな時でも揺らがなかった著者の中野さんは、小さな決断を一つ一つ積み重ねていき、日本から飛び出しドイツで夢を叶えました。

私も自分の「好き」を大事に考えて行動し、良い方向に進んだ経験があります。上手くいかなくて諦めそうになった時、あなたの中にあるその「好き」という気持ちを思い出し、勇気を出して挑戦してみようというエールをもらえる一冊です。



【 戦争を自分の事として考えたい時に 】

『モノクロの夏に帰る』
著 / 額賀澤
出版社 / 中央公論新社

子どもの頃に読んだ戦争の本はどれも悲惨な内容で、二度とこんなことをしてはいけないと思わせるものばかりでした。その一方で、自分からかけ離れた出来事のように感じたのを覚えています。そんな私に「戦争をしていた時代があって、今の私たちがいる」ということを気づかせてくれたのがこの本です。現代に生きる人々が、日常生活の中で戦争について考える短編集です。ぜひ、読んでみてください。



【 科学を楽しみたい時に 】

『やってみた！研究イグノーベル賞』
著 / 五十嵐杏南
出版社 / 東京書店

高校の時、ただ面白そうという理由だけで科学部に入っていました。そんな私が、科学って楽しい！と思ったのが「人を笑わせ、その後、考えさせる」がテーマの「イグノーベル賞」です。「なぜ、バナナの皮を踏むとすべるのか？」「ポテトチップスを食べる音を変えてみた！」など、笑える疑問に対して科学的にまじめに研究して追及します。ぜひ、「ノーベル賞」とは一味違った科学を楽しんでください。



【 「居場所」について悩んだ時に 】

『かがみの孤城』

著 / 辻村深月
出版社 / ポプラ社

学校に通っていない中学生七人が、鏡の先にある不思議な城に集められ、願いを叶える鍵を探す物語です。

私は中学生のころ、友達との関係に悩み、学校にいるけれどひとりぼっちな気持ちになったことがありました。そんな時に鏡の城の中の仲間がいてくれたらよかったなと思いました。学校に通っている・いないに関係なく「居場所」について悩むことがあると思います。そんな時にあなたの気持ちに寄り添ってくれる一冊です。



【 ふるさとを自然を守りたいと思った時に 】

『ライチョウを絶滅から救え』

著 / 国松俊英
出版社 / 小峰書店

長野県の大町山岳博物館で飼育されている冬羽のライチョウを見たことがあります。真っ白な美しい羽毛、踏みしめるように立つ足が神々しく、この美しい鳥が北岳にも生息しているのかと思うと誇らしい気持ちになりました。

せまりくる天敵、地球温暖化の影響もあり、ライチョウは今、絶滅の危機にさらされています。ふるさとを誇りライチョウを守るためにできること…まずは、この本を読んで知ることからはじめてみませんか。



【 自分の正しさを理解してほしいと思った時に 】

『こんとんじいちゃんの裏庭』

著 / 村上しいこ
出版社 / 小学館

車にはねられ意識不明になった祖父に対して、なぜか損害賠償請求が来てしまいます。どうして被害者がお金を払わないといけないのか、納得できない中学3年生の悠斗は、答えを出すために調査を始めます。

自分は絶対に正しいのに、なぜ相手は解ってくれないのか、イライラしたり、悩んだりしたことはないでしょうか。私は今でも時々そうなることがあります。正しさとは何か疑問に思った時、ぜひ読んでほしい本です。



【 自分の居場所が分からなくなった時に 】

『宇宙のみなしご』

著 / 森絵都
出版社 / KADOKAWA

中学2年生の陽子と弟のリンは、仕事で忙しい両親の目を盗んで、「真夜中によその家の屋根に登る」という遊びを生み出しました。陸上部の七瀬さん、いじめられっ子のキヨスクも加わり、屋根登りに挑戦しようとして決行した夜から、4人の関係は変化し始め…。居場所がないというのは怖いことだと学生の頃は思っていました。他者の孤独を理解し、そっと寄り添えた時、ひとりきりでも怖くないと思える、前向きな気持ちをもたらす物語です。



【 大人に近づきたいと思った時に 】

『荒野』

著 / 桜庭一樹
出版社 / 文藝春秋

自由奔放な小説家の父と家政婦との三人暮らしの主人公の、大人へと移り変わっていく感性が瑞々しく描かれています。外の世界を知らなかった少女が今までにない熱い情動に動揺しながらも悩み、大人の世界へと踏み出していきます。早く大人になることばかり考えてしまいがちですが、大人ではもう味わえないことのほうが多いと気づかされました。子どもと大人の狭間の“感情のゆらめき”が見られ、懐かしい感覚を思い出しました。



【 「わかりあう」という難しさに悩んだ時に 】

『アナタノキモチ』

著 / 安田夏菜
出版社 / 文研出版

ひよりと一緒に住んでいるところは支援学級に通っていて、ひとつのことに強くこだわり、相手の気持ちをくみとれない特性があります。ひよりは、そのせいで弟が学校の中で嫌な思いをしていた事を知らずにいました。

同級生に親切にしたはずが、反対に傷つけてしまい落ち込むひより。私にも苦い経験があります。わからないからこそ相手の気持ちに寄りそってきたいと考える姿に、私自身も少し立ち止まって考えていかなければと思いました。



【 動物や自然に興味を持った時に 】

『はじめての動物地理学』

なぜ北海道にヒグマで、本州はツキノワグマなの？』
著 / 増田隆一
出版社 / 岩波書店

子どもの頃動物園で初めてパンダを見た時、その愛らしさにひと目でとりこになってしまいました。それと同時に、なぜパンダは中国にしかいないのか疑問に思いました。

動物地理学とは、簡潔に言うと「世界のどこにどんな動物が分布しているのか」という疑問に答え、解き明かしていく分野です。動物の進化や分布について、地球環境の変化の面からも探っていく過程が興味深く、動物のことをより深く知ることができる一冊です。

令和6年度

南アルプス市サードブックリスト
【中学校】

編集・発行者 南アルプス市学校司書
南アルプス市立図書館司書

発行日 令和7年1月 Vol. 4

南アルプス市立図書館ホームページ
<http://m-alps-lib.e-tosho.jp>